

令和7年8月26日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会
常任理事 濱口 欣也
(公印省略)

「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」に関する
Web説明会へのご参加のお願いについて（協力依頼）

環境省では、人の体内における化学物質の濃度を把握するためのモニタリング（Human Biomonitoring：HBM）を実施しています。

人は日常生活において、様々な化学物質にばく露されており、その中には、健康への影響が懸念されるものも含まれます。化学物質による健康リスクを低減するためには、人の体内における化学物質濃度を継続的に把握し、適切な化学物質管理に活用することが重要であるという観点から、環境省では令和7年度より、全国150地域（別添2）において、約3,000人を対象としたHBM調査を開始することとなりました。調査の実施にあたって、調査地点は無作為に抽出されます。

今般、調査の概要および具体的な作業内容についてWeb説明会（次ページ参照）を開催するため、多くの医療機関からご参加をいただきたいとのことで、環境省大臣官房環境保健部化学物質安全課環境リスク評価室長より本会宛、協力依頼がありました（別添1）。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、郡市区医師会および会員への周知方につきご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、長期にわたる調査のため、今後別の地域も無作為抽出される可能性があります。（別添2）に関わらず、全ての地域の方がWeb説明会に参加可能であることを申し添えます。

また、ご参加いただける場合には、ご所属、ご担当者名、連絡先（電話番号、emailアドレス）、参加予定日程を、参加日当日までに末尾記載の問い合わせ先までお送りください。



Web説明会開催日程

- (1) 9月22日(月) 13:00～14:00(説明30分、質疑応答30分)
- (2) 9月25日(木) 11:00～12:00(説明30分、質疑応答30分)
- (3) 9月25日(木) 15:00～16:00(説明30分、質疑応答30分)
- (4) 9月29日(月) 11:00～12:00(説明30分、質疑応答30分)
- (5) 9月30日(火) 11:00～12:00(説明30分、質疑応答30分)

※各回とも同一内容です。ご都合の良い日程でご参加ください。

会議 URL :

https://teams.microsoft.com/l/meetup-join/19%3ameeting_ZTNIZjg3OGMtMzc4YS00Y2M1LWlwM2ltNGUwMWExOWY0OTRk%40thread.v2/0?context=%7b%22Tid%22%3a%20206e4a0ff-4972-4a8b-af30-4571361d1344%22%2c%22Oid%22%3a%2296a85b6b-2099-4d44-ae40-1b87fb846651%22%7d

会議 ID: 486 922 719 117 8

パスコード: ZQ7at6zz

【注】別添2の調査地域はまだ(案)の段階のもので、今後変更される可能性があります。また、上記説明会のURLについても併せて取扱にご注意ください。関係者以外外部への公表(ホームページに掲載するなど)はなるべくお控えください。

(本件に関する問い合わせ先)

環境省大臣官房環境保健部
化学物質安全課環境リスク評価室
川原 志郎

TEL : 03-3581-3351 (内線6341)

E-mail : HOKEN-risuku@env.go.jp

事 務 連 絡
令和 7 年 8 月 22 日

公益社団法人日本医師会 御中
都道府県医師会 御中
郡市区医師会 御中

環境省大臣官房環境保健部
化学物質安全課 環境リスク評価室長

「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」に関する
WEB 説明会へのご参加のお願いについて（協力依頼）

平素より、環境行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

環境省では、人の体内における化学物質の濃度を把握するためのモニタリング（Human Biomonitoring：HBM）を実施しています。

人は日常生活において、様々な化学物質にばく露されています。その中には、健康への影響が懸念されるものも含まれます。これらの化学物質による健康リスクを低減するためには、人の体内における化学物質濃度を継続的に把握し、適切な化学物質管理に活用することが重要です。

この観点から、環境省では令和 7 年度より、全国 150 地域（別添 2）において、約 3,000 人を対象とした HBM 調査を開始する予定です。

本調査の実施にあたり、全国の医師会に所属する医療機関の皆様に研究協力機関として、今年度以後の調査について御協力をお願いしたく存じます。

つきましては、調査の概要およびお願いする具体的な作業内容についてご説明するため、下記のとおり WEB 説明会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、長期にわたる調査のため、今後、別の地域も抽出される可能性があります。別添 2 に関わらず全ての地域の方が WEB 説明会に参加可能であることを申し添えます。

記

- (1) 9 月 22 日（月） 13：00～14：00（説明 30 分、質疑応答 30 分）
- (2) 9 月 25 日（木） 11：00～12：00（説明 30 分、質疑応答 30 分）
- (3) 9 月 25 日（木） 15：00～16：00（説明 30 分、質疑応答 30 分）
- (4) 9 月 29 日（月） 11：00～12：00（説明 30 分、質疑応答 30 分）
- (5) 9 月 30 日（火） 11：00～12：00（説明 30 分、質疑応答 30 分）

※各回とも同一内容です。ご都合の良い日程でご参加ください。

【別添 1】「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」へのご協力のお願い（PDF）

【別添 2】「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」調査地域（案）につきまして（PDF）

【HBM のホームページ】 <https://www.env.go.jp/chemi/kenkou/monitoring.html>

<連絡先>

環境省大臣官房環境保健部
化学物質安全課環境リスク評価室
川原 志郎

TEL：03-3581-3351（内線 6341）

E-mail : HOKEN-risuku@env.go.jp

「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」へのご協力のお願い

【調査の背景と目的】

人は日常生活の中において、様々な化学物質にばく露されています。その中には、健康への影響が懸念されるものも含まれます。これらの化学物質による健康リスクを低減するためには、人の体内における化学物質濃度を継続的に把握すること（Human Biomonitoring：HBM）が重要です。

この観点から、環境省では令和7年度より、**全国 150 地域・約 3,000 人**を対象とした HBM 調査を開始します。本調査は、

- ・ 日本における化学物質ばく露の実態を明らかにする
 - ・ リスク評価や環境施策の改善に資する基礎データを得る
- ことを目的としています。

【調査の概要】

- ・ **研究代表機関**：国立研究開発法人国立環境研究所（国環研）
- ・ **対象地域**：全国 150 地域
- ・ **対象人数**：約 3,000 人
- ・ **実施期間**：令和7年度（10月～翌年3月）
- ・ **実施内容**：血液・尿・毛髪の採取と検査機関への送付

得られたデータは、日本のバックグラウンド値として活用され、ばく露推計の精緻化、環境施策の効果検証等に役立ちます。

【医療機関にお願いしたいこと】

- ・ **研究協力機関としての登録**
研究代表機関が運用する予約システムに、対応可能な日程・時間帯を登録していただきます。
- ・ **検体採取と送付**
令和7年10月以降～翌年3月までに、対象者の**採血・採尿・毛髪採取**を実施し、検査機関へ宅配便で送付していただきます。
- ・ **対象人数**
1医療機関あたり最大20名程度を想定しています。

【研究協力に関するお礼】

- ・ 環境省より「Human Biomonitoring（HBM）調査事業協力機関認定証」およびポスターを発行します。
- ・ 研究協力に伴い、所定の協力費（固定額＋歩合制、上限10万円程度）をお支払いします。

【今後の流れ（予定）】

1. 8月下旬

Web 説明会の開催案内メールを発送します。

2. 9月下旬

Web 説明会を開催し、調査の概要や協力方法についてご説明します。

3. 10月上旬

研究協力機関の受付を開始します。

4. 10月下旬

今年度対象地域に限定して、研究協力機関との契約を開始します。

5. 契約後

予約システムへの日程登録、採血・採尿・毛髪採取の実施、検体の送付を順次行っていただきます。

【「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」との連携】

環境省では、子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）も実施しています。

この調査は、2011 年に開始された大規模疫学調査で、10 万組の親子に参加いただき、化学物質を含む環境要因が子どもの成長・発達に与える影響を明らかにすることを目的としています。

令和 11 年以降、18 歳以上の対象者に対する調査にご協力いただける医療機関も募集予定です。

- 対象：内科、産婦人科、小児科クリニック
- 内容：18 歳以降、20 代・30 代・40 代での採血・採尿・毛髪採取等
- 協力費：HBM と同様、固定額＋歩合制を想定

エコチル調査との連携協力については改めて詳細お知らせさせていただきたいと思っています。

皆さまのご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。

「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」
調査地域（案）につきまして

当該調査では第一期（令和 7～9 年度）の調査として、全国 150 地域、約 3000 人を対象とすることを想定しています。試料の採取につきましては令和 7 年度と令和 8 年度に重点的に行い、令和 9 年度中に分析結果をとりまとめる予定となっています。

調査地点（案）については、国勢調査の調査単位を参考に、各都道府県の人口により割当数を決定し、その割当数ごとに都道府県の中で地区を無作為に抽出することで選定いたしました。選定された調査地域については、別表 1～別表 2 に示してございますのでご参照ください。

なお、調査地域につきましては、本年度の当該業務に係る検討会「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査検討会」を経て確定されますので、変更の可能性がある旨、お含みおきください。

「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」
第一期 調査地域（150地域）（案）

別表 1

都道府県名	市町村名	郡市区医師会名
北海道	旭川市	旭川市医師会
北海道	上ノ国町	檜山医師会
北海道	美深町	上川北部医師会
北海道	大空町	美幌医師会
北海道	釧路町	釧路市医師会
北海道	白糠町	釧路市医師会
青森県	十和田市	上十三医師会
岩手県	遠野市	遠野市医師会
宮城県	仙台市青葉区	仙台市医師会
宮城県	名取市	名取市医師会
宮城県	岩沼市	岩沼市医師会
秋田県	大仙市	大曲仙北医師会
山形県	酒田市	酒田地区医師会
福島県	会津若松市	会津若松医師会
福島県	郡山市	郡山医師会
茨城県	牛久市	牛久市医師会
茨城県	筑西市	真壁医師会
茨城県	境町	猿島郡医師会
栃木県	宇都宮市	宇都宮市医師会
栃木県	矢板市	塩谷郡市医師会
群馬県	高崎市	高崎市医師会
群馬県	渋川市	渋川地区医師会
埼玉県	熊谷市	熊谷市医師会
埼玉県	加須市	北埼玉郡市医師会
埼玉県	加須市	北埼玉郡市医師会
埼玉県	本庄市	本庄市児玉郡医師会
埼玉県	久喜市	北埼玉郡市医師会
埼玉県	久喜市	北埼玉郡市医師会
埼玉県	吉川市	吉川松伏医師会
埼玉県	伊奈町	桶川北本伊奈地区医師会
埼玉県	嵐山町	比企医師会
千葉県	松戸市	松戸市医師会
千葉県	茂原市	茂原市長生郡医師会
千葉県	柏市	柏市医師会
千葉県	我孫子市	我孫子医師会
千葉県	君津市	君津木更津医師会.
千葉県	印西市	印旛市郡医師会
千葉県	香取市	香取郡市医師会
千葉県	横芝光町	山武郡市医師会
東京都	文京区	文京区医師会
東京都	文京区	文京区医師会
東京都	台東区	下谷医師会／浅草医師会
東京都	目黒区	目黒区医師会
東京都	世田谷区	世田谷区医師会
東京都	練馬区	練馬区医師会
東京都	足立区	足立区医師会
東京都	八王子市	八王子市医師会
東京都	立川市	立川市医師会
東京都	三鷹市	三鷹市医師会
東京都	青梅市	西多摩医師会

都道府県名	市町村名	郡市区医師会名
東京都	調布市	調布市医師会
東京都	調布市	調布市医師会
東京都	東村山市	東久留米・清瀬・東村山医師会
東京都	国分寺市	国分寺市医師会
東京都	狛江市	狛江市医師会
東京都	西東京市	西東京市医師会
神奈川県	横浜市西区	横浜市西区医師会
神奈川県	横浜市南区	横浜市南区医師会
神奈川県	横浜市南区	横浜市南区医師会
神奈川県	横浜市泉区	横浜市泉区医師会
神奈川県	川崎市川崎区	川崎市医師会
神奈川県	相模原市緑区	相模原市医師会
神奈川県	相模原市中央区	相模原市医師会
神奈川県	相模原市南区	相模原市医師会
神奈川県	横須賀市	横須賀市医師会
神奈川県	横須賀市	横須賀市医師会
神奈川県	大和市	大和市医師会
新潟県	長岡市	長岡市医師会
新潟県	燕市	燕市医師会
新潟県	阿賀町	五泉市東蒲原郡医師会
富山県	小矢部市	小矢部市医師会
石川県	金沢市	新潟市医師会
福井県	敦賀市	敦賀市医師会
山梨県	北杜市	北巨摩医師会
長野県	長野市	長野市医師会
長野県	箕輪町	上伊那医師会
岐阜県	土岐市	土岐医師会
岐阜県	笠松町	羽島郡医師会
静岡県	静岡市清水区	静岡市清水医師会
静岡県	浜松市中区	浜松市医師会
静岡県	浜松市西区	浜松市医師会
静岡県	掛川市	小笠医師会
愛知県	名古屋市港区	名古屋市港区医師会
愛知県	名古屋市南区	名古屋市医師会
愛知県	名古屋市天白区	名古屋市医師会
愛知県	岡崎市	岡崎市医師会
愛知県	岡崎市	岡崎市医師会
愛知県	一宮市	一宮市医師会
愛知県	碧南市	碧南市医師会
愛知県	豊田市	豊田加茂医師会
愛知県	知立市	刈谷医師会
三重県	伊賀市	伊賀医師会
三重県	度会町	伊勢地区医師会
滋賀県	甲賀市	甲賀湖南医師会
滋賀県	甲良町	彦根医師会
京都府	京都市伏見区	京都市医師会
京都府	亀岡市	亀岡市医師会
京都府	京丹後市	北丹医師会
大阪府	堺市堺区	堺市医師会
大阪府	豊中市	豊中市医師会

「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」
第一期 調査地域（150地域）（案）

別表 2

都道府県名	市町村名	郡市区医師会名
大阪府	豊中市	豊中市医師会
大阪府	枚方市	枚方市医師会
大阪府	八尾市	八尾市医師会
大阪府	富田林市	富田林医師会
大阪府	寝屋川市	寝屋川市医師会
大阪府	箕面市	箕面市医師会
大阪府	箕面市	箕面市医師会
大阪府	門真市	門真市医師会
大阪府	東大阪市	河内医師会
兵庫県	神戸市灘区	灘区医師会
兵庫県	姫路市	姫路市医師会
兵庫県	尼崎市	尼崎市医師会
兵庫県	西宮市	西宮市医師会
兵庫県	三田市	三田市医師会
兵庫県	丹波市	丹波市医師会
兵庫県	加東市	小野市加東市医師会
奈良県	奈良市	奈良市医師会
奈良県	田原本町	桜井地区医師会
和歌山県	紀美野町	海南医師会
鳥取県	境港市	鳥取県西部医師会
島根県	松江市	松江市医師会
岡山県	美作市	美作市医師会
岡山県	勝央町	勝田郡医師会
広島県	三原市	三原市医師会
広島県	三原市	三原市医師会
広島県	庄原市	庄原市医師会
広島県	下関市	下関市医師会
山口県	岩国市	岩国市医師会
徳島県	つるぎ町	美馬市医師会
香川県	まんのう町	仲多度郡・善通寺市医師会
愛媛県	西条市	西条市医師会
愛媛県	鬼北町	宇和島医師会
高知県	宿毛市	幡多医師会
福岡県	久留米市	久留米医師会
福岡県	中間市	遠賀中間医師会
福岡県	宗像市	宗像医師会
福岡県	古賀市	遠賀中間医師会
福岡県	みやま市	遠賀中間医師会
福岡県	岡垣町	遠賀中間医師会
佐賀県	白石町	武雄杵島地区医師会
長崎県	佐世保市	佐世保市医師会
長崎県	島原市	島原市医師会
熊本県	熊本市東区	熊本市医師会
熊本県	熊本市東区	熊本市医師会
大分県	別府市	別府市医師会
宮崎県	宮崎市	宮崎市郡医師会
鹿児島県	薩摩川内市	川内市医師会
鹿児島県	霧島市	始良地区医師会
沖縄県	那覇市	那覇市医師会
沖縄県	うるま市	中部地区医師会